

建築事業

建築本部長メッセージ

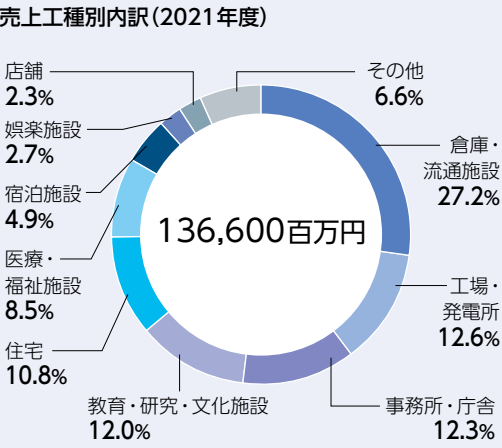
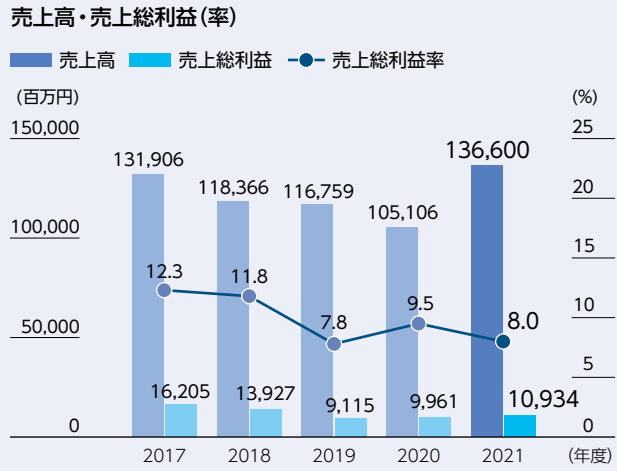
2021年度の建築事業の業績は、売上高が1,366億円となり、昨年度と比較して30%増加しました。一方、売上総利益が109億円と昨年度に比べて10%の微増に留まった結果、売上総利益率は8.0%となり、昨年度より1.5ポイント低下しました。受注競争の激化による受注時利益率の低下や、鋼材価格等の急激な上昇に伴う工事費の増加により、売上総利益が圧迫されたことで厳しい結果となりました。

2022年度は、原材料費の更なる上昇やウクライナ危機の影響など、建設物価の動向が見通せない状況ですが、受注時の採算確保や生産性の向上を進めて、繰越工事の売上総利益の向上に努め、新たに策定した「中期経営計画(2022～2024年度)」の目標達成に向けて取り組みます。

社会のニーズや変化を的確に把握し、お客さまにご満足いただける建物を提供するとともに、技術開発の推進やESG/SDGsに貢献する活動を積極的に進めます。

建築本部長
土屋 完

建築事業の業績(個別)



事業概要

建築事業では、免震をはじめとする防災関連技術や環境負荷を低減する省エネルギー技術などの採用を推進するほか、既存建物の有効活用にも積極的に取り組み、地球環境にやさしく、安全で快適な空間を提供していきます。

これからも、倉庫・流通施設、工場・発電所、医療・福祉施設、住宅、教育・研究・文化施設、事務所・庁舎、宿泊施設、店舗、娯楽施設などのさまざまな建物に求められるニーズを的確に把握した上で、建物の企画から設計、施工、アフターケアまでの全ステージにおいてのサービスを提供し、安心で豊かな社会の構築を目指します。

2021年度の主な完成工事(建築)



物流施設:GLP ALFALINK 流山8【免震】(千葉県流山市)



文化施設:和歌山城ホール(和歌山県和歌山市)



宿泊施設:KEIRIN HOTEL 10(岡山県玉野市)



医療施設:くらて病院(福岡県鞍手町)

建築事業の主な取り組み

建築事業では、「中期経営計画(2022～2024年度)」に基づき、以下の施策に取り組みます。

企業価値の向上	● 全社の人的・物的資源の効果的な運用 ● 法令順守の徹底 ● 顧客および社会のニーズの把握	● 新技術の開発や保有技術の高度化 ● 積極的なICT・工業化工法の採用等による生産性向上 ● 新技術の採用や関連情報収集による価格競争力の強化
人的資源の活用	● 労働災害の撲滅 ● 快適な職場環境の形成	● 教育の充実による職員の能力向上 ● 働き方改革の推進

TOPIC

国内最大級の木造校舎を建築

脱炭素社会の実現に向けて、CO₂の排出量の削減が強く求められる一方、国内の山林では戦後に植林された木々が伐採適齢期を迎え、歴史上最大の木材が蓄積されているため、この木材資源を建物に活用するCO₂の固定政策が推進されています。

流山市立おおぐろの森中学校は、隣接する小学校と合わせると木造床面積で20,100m²(内、中学校は9,900m²)、木材使用量では5,500m³(内、中学校は2,700m³)となる国内最大規模の木造校舎群です。東西の教室棟と、その間に体育館棟とプール棟が設けられており、教室や体育館の屋根などが木造となっています。最新の木造建築技術を背景に、構成する部材には千葉県産をはじめとする国産の杉やカラマツを加工した多彩なエンジニアードウッド※を利用しており、2022年3月に竣工しました。

※木を原材料に二次加工された木質部材のうち、特に強度特性が計算・評価・保証されたもの

13 環境負荷低減
建築物の環境負荷低減

15 社会貢献
SDGs

工事名:(仮称)流山市立おおぐろの森中学校 新築工事
施工場所:千葉県流山市

外観

(左)教室
(右)体育館